



CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン 聖書学院
2015. 8・9月号 NO.160



学院講義

Spiritual Renewal 「靈的刷新」

キース・バンクス師

■靈的に健康になるとは？

■殆どの人は、より良い人生の為に先ず健康が必要であると考へます。勿論！言うまでもなく健康は、人生に於ける最重要課題であり、身体が健やかである事も大切な事です。しかし、だからといって健康であることが、人生を悩ます罪の力から私たちを守るわけではありません。人の心や感情が健全である為には、神様、イエス様、そして、聖霊様との関係に於ける、私たちの「靈の状態」がどうであるかがより大切な事なのです。

■私たちの靈的狀態が、私たちの思考や感情、又、行動に大きな影響をもたらします。もし身体に不調があるなら、私たちは医者に行き医者に診断を訊ねます。医者は私たちに適当な処方薬をくれるでしょう。しかし靈的な事は医者には治すことはできません。それは、神様、イエス様、そして、聖霊様だけが可能なことなのです。ですから靈的な問題には、「靈的なツール」が必要であり、それをを用いて対処しなければなりません。

■靈的に健康となる為に必要なことは、私たちの思考、感情、そして、意志に於ける絶え間ない「靈的刷新」です。エペソ人への手紙4章23節（新改訳）には「また、あなたがたが、心の靈において新しくされ。」とあります。私たちの外なる体を清潔で健康に保つ為には、私たちは毎日、体を洗う必要があるのと同様に、私たちの内なる靈的健康の為には、毎日、内なるものを清めなければなりません。ガソリンの自動車には走るためのエンジンが搭載されています。それと同じように、人間の靈は、人の生活を機能させる為のエンジンなのです。

■人間としての私たちの構造は、三位一体（神様、イエス様、聖霊様）なるお方のように、三つで一つなのです。私たちは靈、魂、体という三つのパーツを持って存在しています。靈の構造は、目に見えない部分であり、神の姿に似せて、神ご自身のかたちとして人は造られています。（創世記1章27節を参照）又、魂の構造は、人間の思考、感情、意志であり、目に見えない部分です。この部分で私たちは自分自身を自覚するのです。（創世記2章7節を参照）そして、身体は、目に見える、人の物理的な部分であり、この内部で靈と魂は生きています。

■靈的要塞

■私たちの思考や感情で体験する多くの問題は、私たちの人生に築かれた「靈的要塞」と深く関わっています。深刻な抑うつ症状、二心の思考、自殺願望、習慣的な罪、中毒、不信仰、邪悪な行動、及び、神のみことばに対する反抗などは、私たちの人生に築かれた靈的要塞の結果なのです。しかし御言葉にはこう書かれています。「私たちの戦いの武器は、肉の物ではなく、神の御前で、要塞をも破るほどに力のあるものです。私たちは、さまざまの思弁と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち砕き、すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従させ。」 第2コリント10章4節、5節

■要塞とは何でしょうか？オックスフォード辞典は要塞を「攻撃に対する防備が固められている場所」と解説しています。ですから靈的要塞とは、「神の真理の知識に逆って立つほどの高さまで築かれてしまった壁」とであると定義できます。この壁は邪悪な考えや破壊的な罪深い

習慣であり、間違った信条やそれに伴う行動など、人に強い影響を与え続けているものです。これは罪の力に対し抵抗力が弱い人の内に築かれていきます。その力は破壊的な習慣により、あなた自身を自分の意志に反するような行動へと駆り立てていくのです。そして、結果的には罪の誘惑に負けてしまうのです。不信仰、貪欲、アルコール依存症、薬物、性的罪、ポルノ、制御不能な怒り、又、ギャンブル依存などとして現れます。あなたの身近にいる、これらの罪深い行動に取り込まれている友人や家族のことを考えてみてください。彼らはそれがどんなものであれ、罪の力に引っ張られコントロールされているのが分かります。これが人生を支配する要塞の力です。

■霊的要塞はどのように築かれるのか？

■この要塞は、どのようにして私たちの人生に築かれていくのでしょうか？まず私たちの先祖や両親、文化から受け継がれた悪い習慣や伝統から築かれます。聖書は、敬虔でない父親から子どもへと受け継がれていく、世代の呪いと罪について語っています。(出エジプト記20章5節、申命記5章9節を参照) 私たちは非常に多くの場合、罪の欺きと暗闇の故に、私たち自身の生活の中に築かれた要塞を見ることができません。サウル王は、彼の人生に闇をもたらした、内なる嫉妬という罪深い要塞を見ていませんでした。(1サムエル記18章8節～9節を参照) ダビデ王は、パテ・シェバと姦淫の罪を犯し、夫のウリヤを殺害したとき、自分の内にある、欲望と殺人の罪深い要塞を見ていませんでした。(2サムエル記11章2節～4節、11章15節を参照)

■そして更に、要塞は、私たちが罪と妥協するとき、私たちの人生に築かれ始めます。箴言26章11節に「犬が自分の吐いた物に帰って来るように、愚かな者は自分の愚かさをくり返す。」とあります。サタンはいつも、私たちの人生の中で、私たちが最も罪と妥協しやすい弱い領域に向けて誘惑をします。妥協するとは、望むものよりも低いものを標準として受け入れるという事です。二つの側面がある時、ある要求を満たす事を諦めて、中間的な所を取る事です。罪の妥協は、私たちの人生に、神の聖さと義を諦める事を要求します。エペソ人への手紙4章24節には、私たちが「真理に基づく義と聖をもって神にかたどり造り出された、『新しい人』を身に着るべき」ことを教えています。私たちが絶対に罪の欲望の為に、神に従う事を妥協してはいけません！

■罪の要塞は、私たちの心と思考の周りに、一つ一つと積み上げられたレンガの壁のようなもので、一つのレンガが積まれる度に、神の真理が入ってくるのを妨げていきます。サタンは要塞を用いて、クリスチャンではない人々が、神を信じて従うことがないように、又、彼らの心に神の真理が入って来ることが出来ないようにと妨害しようとします。多くの人々がイエス・キリストの福音を信じる事が難しい理由がここにあります。(2コリント人への手紙4章3～4節を参照)

■どうしたら霊的刷新は可能か？

■ではどうしたら私たちは罪の要塞を打ち壊し、霊的に刷新されることができるのでしょうか？ローマ書にはこのように書かれています。

「この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえるために、心の一新によって自分を変えなさい。」ローマ人への手紙12章2節
更に具体的に見ていきましょう。

1. 習慣的な罪を悔い改め、その罪から離れる。

■習慣的な罪とは、習慣になってしまっている罪です。「そういうわけですから、主の御前から回復の時が来て、あなたがたの罪をめぐり去っていただくために、悔い改めて、神に立ち返りなさい。」使徒の働き3章19節

悔い改めるとは、思いを変え、行いを変えという意味です。私たちが神に悔い改めるなら、神は私たちの人生にある罪の要塞の力を打ち砕き、清めてくださいます。

2. 主への恐れを持つ。

「愛する者たち。私たちはこのような約束を与えられているのですから、いっさいの霊肉の汚れから自分をきよめ、神を恐れかしこんで聖きを全うしようではありませんか。」2コリント人7章1節

■主を恐れるとは、私たちの人生の上にある、神の権威を敬うことを意味します。私たちが今、神の力を認め、神を敬うならば、私たちは神に従い自分を低くすることができます。主への恐れは、私たちが悪から離れるためのカギの一つです。「恵みとまことによって、咎は贖われる。主を恐れることによって、人は悪を離れる。」箴言16章6節

3. 神のみことばの真実に従う。

「あなたがたは、(「御霊を通して(欽定訳)」) 真理に従うことによって、たましいを清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったのですから、互いに心から熱く愛し合いなさい。」1ペテロ1章22節

■神のみことばの真実に従うことは、聖霊の助けと力を通してのみ可能です。神のみことばの真理と聖霊は、ともに働き、私たちに、罪の要塞から自由になる力を与えてくれます。聖霊は神の真理を用いて、私たちが神の真実に従うことができるようにと導かれます。(ヨハネの福音書16章13節を参照)

■霊的刷新は、私たちの人生のすべてが聖化されることを要求します。聖化とは、『清くされること』を意味します。私たちが自分の罪を悔い改めて、主への恐れを持ち、聖霊の助けと力を受けて、神のみことばの真実に従うとき、私たちは清くなります。これが霊的刷新のプロセスであり、私たちの霊、魂、体において実現することです！私は是非！みなさんが人生のすべてを清く保つことによって、日々の霊的刷新を実際に体験するように励ましたいと思います！私たちが要塞を打ち破り、いつも霊において新しくされるよう、神様が私たちを助けてくださいますように！アーメン！

■キース・バンクス師講義「霊的刷新」の紹介

2015年6月9日～11日、キース・バンクス師がCFNJ聖書学院ですばらしい講義をしてくださいました。ドクターとして知られているキース・バンクス師ですが、御霊に満たされた生活を実践し、みことばから直球で語る、切れ味の良い教えます。今回のテーマは、「霊的刷新」で、6時間かけて、詳しく教えています。1時間目の講義を、下記のリンクで無料で視聴することができます。2時間目以降を視聴したい方は、直接 CFNJ 聖書学院 (office@cfnj.com Tel 0133-74-1341 Fax 74-1343) に注文してください。詳しい講義内容は次の通りです。 <https://vimeo.com/130176582>

- ① 霊的刷新について
- ② 霊的戦い - 霊的要塞について
- ③ 霊的要塞 - 罪の要塞 1
- ④ 霊的要塞 - 罪の要塞 2
- ⑤ 霊的刷新のプロセス 3
- ⑥ 霊的刷新のプロセス 4

● CD/1時間～500円。
● DVD/1時間～800円。
(CFNJ、CFNJ卒業生には割引があります。)是非、買い求めて、霊的成長に役立ててください。





学院講師 金聖圭師

「神のワードプレイ真のアリヤー (Aliyah) とは？」

「誰が、主の山に登りえようか？」

「だれが、主の山に登りえようか。だれが、その聖なる所に立ちえようか。手がきよく、心がきよらかな者、そのたましいをむなしいことに向けず、欺き誓わなかった人。」 詩篇 24 篇 3 節～4 節

詩篇 24 篇はダビデの詩篇です。この 3 節にある「主の山」とは、「エルサレム」、「シオンの山」、「神の臨在される神殿」のことです。ダビデはここで主の山に登れる（アーラー Alah）のは誰か？と問いかけています。ダビデは答えとして「手がきよく」、「心がきよらかな者」と言っていますが、これは単に優しく、お人好しという意味ではありません。では主の山、シオンの山に登れるのは誰なのでしょう？「登れる」はヘブライ語でアーラー Alah という言葉で、「上る」、「届く」、「ささげる」、「全焼のいけにえ」、「帰還する」という意味です。この言葉からの派生語で、同じヘブライ語で、アリヤー Aliyah という言葉があります。この言葉は世界中に散らされているユダヤ人がイスラエルの地に戻ってくることを意味する言葉です。

ユダヤ人の帰還を助ける国際的な団体である、「エベネゼル国際緊急基金の日本支部」（「出エジプト作戦」第 8 号）の小冊子には、アリヤーについて、次のように説明されています。「アリヤーとは、イスラエルの子孫であるユダヤ人の古代イスラエルのあった約束の地への物理的な帰還を表すヘブライ語である。この言葉は厳密には、『主の家』、あるいは、『シオンの山に上る』ことを意味している。」ここで「真のアリヤーとは？」と題して、この主の山に登れる（アーラー Alah）のは誰か？という問いかけの聖書的な意味を探ってみたいと思います。それはかつて、この山（シオンの山、モリヤの山、エルサレム）に上った人を通して、確認すると一番分かりやすいと思います。それでは、その代表的な人物を取り上げてみましょう。

シオンの山に上った（アリヤーした）事のある人は誰か？

1. アブラハム（イサク）

神様はアブラハムにとても、厳しいことを命じられました。それは主の約束によって 100 才にして、与えられたひとり子イサクを「全焼のいけにえとしてささげなさい」というものでしたが、神様はイサクをささげるべき場所として、モリヤの地にある一つの山を指定されたのです。この山が、後にソロモンの神殿が建つ、神殿の丘、シオンの山、エルサレムです。どうして、神様はアブラハムにイサクを全焼のいけにえとしてささげる場所をモリヤの地の一つの山と、特定されたのでしょうか？別の場所、近くのどこかでも良かったのではないのでしょうか？

「神は仰せられた。『あなたの子、あなたの愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そしてわたしがあなたに示す一つの山の上で、全焼のいけにえ（アーラー Olah）としてイサクをわたしにささげ（アーラー Alah）なさい。』」（創世記 22 章 2 節）

ここに「モリヤの地に行きなさい」という言葉がありますが、これは、ヘブライ語でヤーラフ Yalakh 歩く、行くという意味です。しかし、文脈的にはモリヤの山に行くわけですから、（アーラー Alah：上る）と同じ意味合いを持つことが分かります。そうすると創世記 22 章 2 節には、アーラーという同じ語源を持つ言葉が 2 回（全焼のいけにえ、ささげる）、ヤーラフもここでは意味合いとしてはアーラーですから、合わせて、同じ言葉が 3 回出てくることになります。

2. ダビデ

エジプトを出て、カナンのに辿り着いたイスラエルの民は、神様から与えられたその地を占領していきましたが、占領できなかった地もありました。その中にエルサレムも含まれています。このエルサレム、シオンの町は後にダビデが、占領します。(士師記1章20節～21節、2サムエル5章6節～7節、1歴代誌11章4節～5節) かつてのアブラハムのように、ダビデもシオンの山について主から示されていたのです。シオンは、ダビデが好きこのんで選んだ場所ではありません。このシオンの山、エルサレムは神様にとっては、私たちの想像を超えたこだわりのある場所であることが聖書全体から見受けられます。

「(都上りの歌) 主よ。ダビデのために、彼のすべての苦しみを思い出してください。彼は主に誓い、ヤコブの全能者に誓いを立てました。『私は決して、わが家の天幕に入りません。私のために備えられた寝床にも上がりません。私の目に眠りを与えません。私のまぶたにまどろみをも。私が主のために、一つの場所を見だし、ヤコブの全能者のために、御住まいを見いだすまでは。』～中略～主はシオンを選び、それをご自分の住みかとして望まれた。『これはとこしえに、わたしの安息の場所、ここにわたしは住もう。わたしがそれを望んだから。』」詩篇132篇1節～14節



3. イエス (イエシュア)

また、イエシュアがシオンの山に上られた「アーラー Alah」方です。何のために上ったのでしょうか。それは、ご自身を全焼のいけにえアーラー Olah として、御父にささげられる「アーラー Alah」ためでした。上ることも、全焼のいけにえも、ささげることも、すべて同じ語源の言葉です。真のアリヤーの意味をイエシュアが示しておられます。「しかしキリストは、すでに成就したすばらしい事がらの大祭司として来られ、手で造った物でない、言い替れば、この造られた物とは違った、さらに偉大な、さらに完全な幕屋を通り、また、やぎと子牛との血によってではなく、ご自分の血によって、ただ一度、まことの聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられたのです。」(ヘブル9章11節～12節)

シオンの山に上った (アーラー Alah) この3人の共通点は?

アブラハム

「翌朝早くアブラハムはろばに鞍をつけ、ふたりの若い者と息子イサクとをいっしょに連れて行った。彼は全焼のいけにえのためのたぎぎを割った。こうして彼は、神がお告げになった場所へ出かけて行った。」(創世記22章3節)

ダビデ

「それから、彼を退けて、ダビデを立てて王とされましたが、このダビデについてあかして、こう言われました。『わたしはエッサイの子ダビデを見いだした。彼はわたしの心になつた者で、わたしのところを余すところなく実行する。』(使徒の働き13章22節)

イエシュア

「キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。」(ピリピ書2章6節～8節)



それでは、最初の質問に戻ってみましょう。主の山に登れる(アーラー Alah)のは誰でしょうか? 答えは、天のお父さんのみこころに従う者です。御父への従順がそのカギです!

「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。」(マタイ7章21節)

天国 (神の王国) は死んだら行くところ

主の山、エルサレム、シオンの山は神の王国の中心であり、神の王国を(天国)を現しています。その神の王国に上れる「アーラー Alah」のは自分の自我を全焼のいけにえアーラー Olah として、主にささげた「アーラー Alah」者、すなわち、自分に死んだ者です。ですから、神の王国(天国)は死んだら(自分に死ぬ)行くところであるわけです。

真のアリヤー Aliyah とは?

主の家、シオンの山、エルサレム、父の家、神の家、これらの言葉が指し示すのは「神の王国」です。真のアリヤーは、神の王国(主の家、父の家、シオン)に立ち返るシュブ Shub ことであり、真にアリヤーするためには、真の悔い改めシュブ Shub、すなわち、自分の自我に死ぬこと、神の前に自分自身を全焼のいけにえ(アーラー-הולע)としてささげる必要があるということです。



「イエスは、みなの方に言われた。『だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。』」ルカ9章23節

イスラエルに帰還する人々

World Prayer and Share Letter

世界の為の祈り

とりなし手の皆様へ

チャールズ & ダイアン・グリコ師



賛美レポート

■「イスラム圏の宣教師は、過去14年（2000年から2014年）の間に、キリスト信仰に改心したイスラム教徒の数は、過去14世紀のイスラム教の歴史の間の回心者よりも多いとされています！アラーの名前によってなされ、モハメットの暴力的な模範を反映する、I S I Sの行っている残虐な行為が、多くのイスラム教徒を震え上がらせ、自分たちの信仰に疑問を持たせ始めています。」*1

■「今日、私たちは歴史上最も大きく、広範な、イスラム教徒のキリストへの回心を目撃しています！」今年の6月18日から7月17日までの間（ラマダン期間中）、世界中のクリスチャンと協力して、イスラム圏における霊的なブレイクスルーのために祈りましょう。*2
大人や子供のための祈りのガイドをここで入手することができます。 <http://pray30days.org/>

■さらに祈ってください：15年間隠れクリスチャンとして生きた、モロッコのイマームの息子であるラシードのためにお祈りください。ラシード兄弟は現在、「思い切った質問」という名前のアラビア語によるクリスチャンの番組の司会者をしています。これはイスラム教徒の信仰に疑問を持たせるチャレンジを与える番組です。彼は言います：「多くのイスラム教徒は『I S I Sがイスラム教ならば、私はイスラム教をやめます』と述べています。」さらに：「現在アラブ世界には無神論の大きな波が訪れており、これが多くの人々をイエス・キリストへと向かわせています。イスラム教は今までこのような危機に直面したことがありません。」



賛美レポート

■神の国が中国で前進しています！「中国共産党は中国におけるキリスト教の著しい拡大を取り締まる新しい方法を探しています。中国のクリスチャンは長い間迫害に苦しんできましたが、今日共産党は徐々に宗教的自由を許可してきました。中国に忠誠を誓い、政府に登録されている、いわゆる三自愛国教会（自活・自治・自己伝播）は 57,000 あります。しかしながら多くのクリスチャンは政府に登録されておらず、激しく弾圧され、残酷な迫害を受けてきた家の教会で集まっています。しかし今、キリスト信仰は急速に広がっており、共産党の当事者の間にさえ浸透しています。家の教会と公認教会の間の線はぼけてきており、クリスチャンは隠れた所から出現し始め、社会の中でより積極的な役割を果たし始めています。

■1976年には中国に400万人ぐらいの信者がいました。今日中国には、8700万人いる共産党の党員の数を超えるクリスチャンがいます！現在の年間10パーセントの成長率では、2030年までに2億5000万人のクリスチャンに増え、中国のクリスチャン人口が世界一になることが推定されています。*3

■祈りましょう：神様が中国にご自分の聖霊を注いでくださっていることを感謝し、賛美しましょう！過去から現在に至るまで残酷な迫害や弾圧を受けながらもイエス・キリストに対する信仰を大胆に語る勇気を中国のクリスチャンに主が与えてくださっていることを感謝しましょう。彼らが聖書の真理を掲げ続けることができるように、また共産政府のクリスチャンの動きに対する制限から自由になることができるように、そして、2030年までに2万人の宣教師を送り出すと言う「ミッション・チャイナ」の目標が達成されるように祈りましょう！

危機的状況にある世界

■毎日世界で21,000人の子供が死んでいきます。

これは次のことを意味します。

●4秒に1人の子供が死にます

●1分に4人の子供が死にます

●毎年約760万人の子供が死に、2000年～2010年までの間に9200万人の子供が死にました。彼らは、貧困、飢餓、病、戦争の犠牲者となりました。（統計は www.globalissues.org より）。「本当の宗教」とは、やもめや孤児の世話をすることです。*4

■祈ってください：ネパール大地震の犠牲となった孤児と、シリアとイラクで、ISISから逃げている子供たちのためにお祈りください。

情報源：

1.CBN News: <http://www.cbn.com/cbnnews/world/2015/June/Ex-Muslims-Lighting-the-Way-for-Islams-...> 6/8/2015

2.Joel News International: Wed. 10 June 2015 www.joelnews.org

3.Joel News International: 6/4/2015 www.joelnews.org

4.www.worldchallenge.org June 8,2015 Missions Update



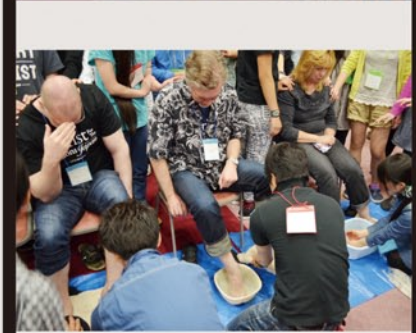
ユース・フォー・ザ・ネーションズ 2015 レポート!

「信仰が燃やされた!」

テーマ / 「宣教」
「PANTA TA ETHNE」
(パンタ・タ・エスネ)

2015. 5月3日~5日の3日間

ゲスト / 佐伯淳平師 (Be One 教会牧師)



ハレルヤ!素晴らしいイエス様の御名を賛美します!

今年の「YFN 2015」は、神様の祝福の中開催することが出来ました!皆さまのお祈りとご支援を心から感謝いたします!又、たくさんのユースを送り出してくださったご家族の皆さまと諸教会の牧師、リーダーの方々に、心より感謝申し上げます。

今年の YFN では、ゲストメッセンジャーに大阪 Be One 教会牧師の佐伯淳平師をお迎えし、『宣教』をテーマにメッセージをしていただき、ともに祈り、ともに遊び、ともにみことばを分かち合う、素晴らしい時を持つことができました。札幌在住の宣教師たちによる世界各国の宣教事情レポート『ワールド・ミッション・タイム』や、近郊の牧師を招いて行われた分科会など、もりだくさんの体験を通して、ユースたちが霊に熱く燃やされています。

「YFN に参加するなかで、神さまがどれほど自分を愛してくれているか、またすべての人々を愛しているかを強く感じた。」「友だちのために手を置いて祈っているとき、初めて預言の賜物を与えられて、神さまの心を通して励ますことができ、うれしかった。」「神さまが造られたすべてのものが、踊りだすほどに喜んでる幻(ビジョン)を見て、すごく感動した。」「分科会の『だれにでもできるいやし』で、ジェリー先生とみんなに祈ってもらったら、ケガしていた部分がすごく回復してうれしかった。」...など、参加したユースからたくさんのうれしいコメントを聞くことができました。

また、各教会リーダーの方々からも、「YFN に参加後、ユースが「礼拝だけでなく、祈り会にも来たい!」と言って、信仰が燃やされています。」「ユースたちが神様に触れられて、変えられている様子や信仰が燃やされている様子を伺う事が出来ました。」「集会での招きの時に、宣教師になることを語られ、その招きに応答する事が出来ました。今回の YFN に参加しなければ、きっと語られることはなかったと思います。」「ユースたちが「来年も行きたい!」と言っています」など、多くの感謝のレポートをいただきました。ハレルヤ!

参加した一人一人のユースが、神様から受けた宣教のチャレンジを実行して行くことが出来るように、引き続きお祈りください。2016年の YFN は、ゴールデンウィーク中に開催予定です!





集会メッセージ要約 マタイの福音書14章22節～

「ペテロの舟」 佐伯 淳平 師

イエス様は、弟子たちを強いて舟に乗り込ませ、ゲネサレの地へ行こうとされました。しかし、風は向かい風であり、まだ陸から何メートルも離れているのに、波に悩まされていたとあります。「イエス様が強いて私たちを乗せられたのに、なんでこんなことが起こるんだ！」弟子たちはそう思ったでしょう。彼らは漁師ではありませんが、長旅に疲れ果てていたかもしれません。しかし、夜中の3時ごろ、真っ暗闇の中で事件が起こります。湖の上を歩いてくるイエス様を見て、弟子たちは、恐れあまり叫び声を上げたと、聖書に書かれています。「しっかりしなさい。わたしだ、恐れることはない。」イエス様は言われます。みなさんだったら、なんと答えますか？「もし、イエス様だったらこっちにきてください！」と言いますか？もう一度、「本当にイエス様ですか？」と聞いてみますか？それとも、イエス様が幽霊か、もう少し様子を見てみますか？一人の弟子ペテロは訳の分からないことを言います。「もしあなたでしたら、この水の上を歩いて、ここまで来い、とお命じになってください！」と。しかし、イエス様は、そんなペテロに「来なさい」と声をかけられました。ペテロは、その声を聞き、舟から出ました。水の上を歩き出したのです。歩いている時は、イエス様の顔だけを必死で見ていることでしょう。しかし、波を見、自分が水の上を歩いていることにびっくりした瞬間、沈み始めました。けれども、「信仰の薄い人だな。」と言ったイエス様は、優しい声だったのではないのでしょうか。真っ暗な中、めちゃくちゃなお願いをしたペテロ。しかし、彼はイエス様に向かって、荒波の上を歩いていきました。イエス様の声は、そこにいた弟子たち全員が聞いたのです。今、イエス様は舟の中にいる私たちひとりひとりに語りかけておられます。私たちは、ペテロのように「ここまで来なさい！

とお命じになってください」と言えるのでしょうか？「イエス様のところまで、歩かせてください！」「今まで不可能だと思っていた領域に、踏み出させてください！」ペテロは、周りの人が自分のことをどう見ているかなど、何も考えませんでした。「しっかりしなさい。私だ、恐れることはない。」イエス様は、あなたに語りかけておられます。ペテロのように、突拍子もない祈りをさせてください！と求めていきましょう。

ペテロは宣教の言葉を、大胆に人々に分かち合った人です。この大胆さとスピリットこそ、ペテロの特徴かもしれません。しかし大切なことは、踏み出すなら、後はイエス様が面倒を見てくださる、ということです。信仰のレースに参加してください！レースには、意志の強さや集中力が必要です。また、自分の方法で走るでしょう。しかし、最後まで走り切る力は、内側から来ます。「神の国はあなたがたのただ中にある。もし心を尽して私を求めるなら、あなたは私を見つけるだろう。」イエス様の愛に捕らえられて、走り抜くのです。パウロが、最後の最後まで走り切ることができたのは、イエス様の心とパウロの心が、愛の封印で繋ぎ合わされていたからです。

あらゆる民族を弟子としなさい！とイエス様が渡してくださったバトンは、2千年をかけて、私たちのところに届きました。それは、誰かが日本へバトンを渡してくれたからです。もし、誰か途中でバトンを捨てていたら、私たちは今ここにいません。イエス様の愛に捕らえられて、イエス様の愛に縛られて、最後まで走り抜くことができますように！みなさんが遣わされる地で、イエス様の愛を運ぶ者となりますように、祝福を地にもたらす者たちとなりますように！

分科会ピックアップレポート！

アルプス生 / 安達 郁里

「恋愛セミナー」 田中 満矢師

恋愛に必要なもの！というお題をもとに、真剣に且つ笑いありのセミナーとなりました！満矢先生の体験談も交えて、愛とはなんだ？パートナー選び、ラブランゲージなど、内容は盛りだくさん。セミナー最後には、参加者みんなの質問に答える時間も持たれました。

第1回目、第2回目と、参加者に合わせて内容は異なり、素晴らしい時となりました！



「あなたも私も宣教師」 佐伯 淳平 師

グループでディスカッションの時間が持たれ、宣教師とは何か、宣教に行くために必要なものなど、「宣教」についての理解を深める時となりました！宣教師を支えとりなしの祈りの大切さや、送り出す側、迎える側の心も学ぶと同時に、

未伝の民族へ伝える行く必要性が熱く語られました。

最後には、「今の私に出来ること」という適用と祈り、また現在ミャンマーにおられる小森宣教師のために祈る時間も持たれ、参加者への励ましの時となりました

入学おめでとう!



豊田信行師

■少し、レポートが遅れましたが、去る4月13日(月)ニューライフクライストチャーチの豊田信行牧師をゲストにお迎えして、2015年度の入学式が行われました。新入生、及び進学生、一人ひとりを覚えていただき、お祈りで支えていただければ幸いです。

■ハレルヤ!私が学院に入学しようと思った動機は、韓国の祈禱院で祈り、マルコ 8:34-35 を示され、この学院に導かれ入学しました。この学院で学び、仕え、主を慕い求めて歩いていきたいです。

一般コース 小川 拓実 (東京都出身)



■CFNJ 聖書学院に導かれたことを感謝します。御言葉に生き、聖霊様とともに、日々十字架を負って、感謝と喜び、そして平安の中、毎日、神さまからのプレゼントを探し、主の弟子として愛の訓練を楽しみたいのです!

一般コース 鶴鶴 (ササキ) 文 (島根県出身)



■ニュージーランドで救われて、日本に帰るように示され、この学院に導かれた事に主に感謝します。聖書を深く学び、毎日、兄弟姉妹と共に主を礼拝出来る恵みと、日々を喜び、成長し、飛び立っていきたいです。

一般コース 本村 寛子 (東京都出身)



■ハレルヤ!主の御名を賛美します。主の導きにより、アルブスコースへ入学することができました。主は、私に「打ち場に行きなさい。」と言われました。打ち場とは、ルツとボアズが出会った場所であり、そこは、キリストと花嫁の親密な関係を持つことの出来る場所です。一年間の学びの期間を通して、更に主との親密な時をもつことの出来る恵みを感謝します。

アルブスコース 坂本 清憲 (福島県出身)



■みことば・預言・しるしを通して学院に導かれました。人の思いをはるかに超えた主のご計画を信頼して深みに漕ぎ出します。送り出してくれた教会と家族に感謝し、さらに主を愛する者へと成長していきたいです。

アルブスコース 相田 朝美 (北海道出身)



■主の「わたしを愛しますか?」の声に答え、一歩踏み出しました。「私はいつも、私の前に主を置いた。主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない。」いつも主と共に歩み、ゆるがない者へと変えられていきたいです。

アルブスコース 安達 郁里 (京都府出身)
(進学生)



■完全に満たされ、御言葉をさらに深く理解するために学ぶことは、素晴らしいことです。神の御手の中で、主の器となり、日本を変え、またリバイバルをもたらす助け手となっていきたいです。

アルブスコース (進学生)
ドベリ・クリス (スイス出身)



CFNJ 販売.刊行物

●お申し込みは/学院事務局まで



「山をも動かす祈り」

「聖霊のバプテスマを受けるには」

無料
プレゼント!

近日
刊行予定

驚くべき憐れみに満ちた人生の証

「主の恵み尽きることなく」

副学院長 鍛冶川 紀子著



プレゼントに最適!



「起源論争」

デニス・リンゼイ著



お母さんになるための心構え

「奇跡の9か月」

マリー・ヘインズ著

●定価/1,500円 (税別)

無料
プレゼント!

2015年度 2学期 授業カリキュラムスケジュール

(2015年9月7日(月)～12月4日(金)迄)

CFNJ 特別講義
ゲストスピーカー

●ゲストスピーカーの授業は、どなたでも無料で聴講出来ます。(自由献金制、テキスト代有料。)通常の授業も聴講が出来ます(有料)又、入学を検討されておられる方には、無料体験入学制度もありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

9月7日(月)、午前8時より「入学式」を行います。

●時間 / 午前8時より～9時30分まで。●場所 / 学院ホール



9月7日(月)～8日(火)迄

アンディ・フェン師

■台北靈糧堂執事、中山靈糧福音センターのソングリーダー、ワーシップチームのリーダー。教える内容：礼拝者のいのち、ワーシップチームへの教会と導き方他。

全体 / 月曜日は、2・3時間目
火曜日は、1・2・3時間目

●8日(火)は午後1時～2時まで、台湾靈糧堂チームによるポータルワークショップを行います。どなたでも参加できます。



9月14日(月)～18日(金)迄

ロドルフォ・ガルサ師

アミスタッド・デ・モントレー教会、エビセントロ聖書学院創立者。学院理事長。

全体 / 1・2時間目



9月24日(木)～10月2日(金)迄

ブルース・マクドナルド師

ストレイヤー大学教授・アカデミック・アドバイザー

・24日・25日
アルプス / 1・2時間目
・28日～2日
全体 / 2・3時間目



10月20日(火)～21日(水)迄

上沼昌雄師

1945年群馬県前橋生まれ。高校2年生の時にスイスからの宣教師を通して信仰に導かれる。神学博士。『夫たちよ、妻の話を聞こう』他著書多数。

全体 / 1・2時間目



10月28日(水)～30日(金)迄

有賀喜一師

■全日本リバイバルミッション代表。リバイバル聖書神学校校長。CFNJ聖書学院顧問。

全体 / 1・2時間目

1・2年コース (必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 AM8:45～9:40	創造科学 オラフ・カートハウス	旧約聖書概論Ⅱ 田中 信矢	世界教会史Ⅱ 鍛冶川利文	約束の地を所有せよⅡ 三浦 雅範	雅歌の学び 松原 望
2 AM10:00～10:55					
3 AM11:05～12:00	使徒の働きⅡ 田中 博	エペソ書 G・グドール	礼拝者の資質 岡田 留美子	イエスキリストの生涯Ⅱ J・ジャンセン	

アルプスコース (必修科目)

1 AM8:45～9:40	霊的 リーダーシップ R・グドール	牧会 セラウン グウンⅡ 小栗 昭夫	祈りⅠ 田中 博	ヨブ記Ⅱ 石田 吉男	21世紀の国の原則による 神の教会 安田 諭
2 AM10:00～10:55					
3 AM11:05～12:00	近郊の牧師	リーダーシップの21の原則 鍛冶川利文	聖書の祭り 金 聖圭	聖書釈義Ⅱ 松原 望	

選択科目

午後 PM13:00～15:00	ドラムクラス チップ・ブラウン 英語クラス G・グドール	聖書ヘブライ語 金 聖圭 タンバリンクラス 鍛冶川紀子	ピアノクラス ボイストレーニング 新井田路子	実習 (必修)	ドラマ演劇 クラス 鍛冶川紀子
---------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------	------------	-----------------------

※上記の授業は聴講ができます。授業料や内容に関しては、事務局にお問い合わせください。尚、スケジュールは、突然に変更する事があります。事前に事務局にご確認してください。

献金感謝のご報告！

前回のニューズレターで、献金のお願いをさせていただきましたところ、多くの方が、応答していただき、献金をしてくださいましたことを心より感謝いたします。

●400万円の献金

前回のニューズレターでも申しましたように、CFNJ聖書学院の働きを経済的に支援するキングダム・ファウンデーションからの献金以外に今年集めなければならない献金が1200万円あります。感謝なことに、1月～5月までにみなさまが献金してくださった額は、約400万円になりました！これは大きな励みであり、みなさまの祈りと献金に心から感謝申し上げます。

●コンピュータ献金

前号でコンピュータ献金のお願いもさせていただきましたが、今までに17万2千円の献金がありました。本当にありがとうございます。残りの必要が与えられるようにお祈りください。

今年のCFNJ聖書学院の予算を図にすると、このようになります。(図参照) 全体の収入予算の3分の1は、キングダム・ファウンデーションからの献金です。それ以外に集めなければならない献金が約1200万円です。大きなチャレンジが続きますが、主に呼び求め、また支援して下さるみなさまに、この必要が満たされるように祈りの応援をお願いします。心動かされた方は、ぜひ、定期献金、または、一時献金により、支えていただけますならばまことに幸いです。

スタッフ一同、皆様のご支援を感謝すると同時に、主からの豊かな御恵みがありますよう、お祈り申し上げます。

CFNJ聖書学院国際部長
グドール ジェラルド



※定期的、継続的に献金をして下さる方で、ゆうちょ銀行総合通帳(旧郵便貯金ばるる)をお持ちの方には、『自動送金サービス』が便利です。一度、申し込んでいただきますと、毎月定額が自動的に送金されます。詳しくは、学院のサイトをご覧ください。

(学院サイト <http://www.cfnj.com/offering.html>)

予告!
CFNJ

同窓生会のご案内

2015年度のCFNJ同窓生会を、2ヶ所で開催することになりましたので、あらかじめ、お知らせいたします。

北海道地区

北海道地区同窓生会は、CFNJ理事長の「ガルサ夫妻」をゲストに迎え、CFNJ聖書学院にて行われます。

- 日 時：2015年9月12日(土) 午後3時30分～5時30分
- 場 所：CFNJ聖書学院 (CFNJ ホール)
- 参加費：1200円 (お弁当・茶菓・飲み物代) (お子様と一緒に参加される方で、お弁当を申し込まれる方は一個500円で申し込むことができます。小さいお子さまと一緒に参加の場合は、母子室がありますので、ご利用ください。)
- 申し込み：8月31日(月)迄に、北海道同窓会連絡係、檜森ひとみさん迄メールでお申し込みください。・北海道同窓会連絡係：檜森ひとみ メール：prin-jesuslove@hotmail.co.jp ※北海道地区の卒業生には後日改めて、往復ハガキで案内が送られます。
- プログラムの内容：賛美・グリコ夫妻あいさつ・ガルサ先生の励ましメッセージ・近況報告と祈りの時・交わり。(交わりの際、会場では、お弁当と飲み物をご用意いたします。)

ぜひ皆様とご一緒に、主にある喜びの交わりの時を持ち、互いに励ましを受けたいと思います。お忙しい日々をお過ごしのことと存じますが、どうぞふるってご参加ください。

関東地区

関東地区同窓生会は、CFNJ国際部長のグドールジェラルド師をゲストに迎え、東京にて行われます。

- 日 時：2015年10月24日(土) 午前10時～12時
- 場 所：ノブントッお茶の水教会
〒160-0005 東京都新宿区愛宕町19-16 フジビル8階 都営新宿線曙橋駅より約徒歩3分 東京メトロ丸の内線四谷三丁目駅より約徒歩5分。
- 参加費：500円 (茶菓・飲み物代)
(お子様は無料です。教会には母子室がありますので、お子様同伴OKです。)
- 申し込み：10月10日(土)迄に、関東同窓会連絡係、張旨子さん迄メールでお申し込みください。
・関東同窓会連絡係：張旨子 メール：john-3.16-v@hotmail.co.jp ※関東地区の卒業生には後日改めて、往復はがきで案内が送られます。
- プログラムの内容：賛美・グドール先生の励ましショートメッセージ・近況報告と祈りの時・交わり
終了後希望者で昼食に行く予定です！お忙しい日々をお過ごしのことと存じますが、どうぞふるってご参加ください。



宗教学人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
●e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

